

QST病院で前立腺がん又はすい臓がんで放射線治療を受けた方へ

量子科学技術研究開発機構では、がん患者様の診療で使われた医療情報（カルテ・画像・検査のデータ）と検査及び研究のために採血保存させて頂いておりました血液を用いて、高感度な大規模メチル化解析法をエピゲノム異常蓄積の探索に適用することで、蓄積したエピゲノム異常を評価する可能性を検討する研究を実施致します。この研究の成果は、血液でがん罹患患者特有のエピゲノム異常の蓄積程度を捉えることで、高リスク群の判定や早期発見などに役立つ可能性を秘めています。この研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」により、対象となる患者さんのお一人ずつに直接説明を行った上で同意をいただく代わりに、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先：窓口」へご照会ください。もし、詳しいことをお知りになりたい場合には、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲で、より詳しい計画書や関連資料を閲覧いただくことができます。また、個人情報保護法に基づく開示・利用停止等の手続き等を希望される場合にはお申し出ください。

[研究課題名] 膵臓がん罹患患者と前立腺がん罹患患者の血中エピゲノム異常蓄積の探索

[実施期間] 許可日～2028年3月31日

[研究機関] 量子科学技術研究開発機構
QST病院重粒子線治療研究部

[研究責任者] 相場 俊樹

[研究の目的] 高感度な大規模メチル化解析法をがん患者におけるエピゲノム異常蓄積の探索に適用することで、蓄積したエピゲノム異常を評価する可能性を検討する。

[研究の方法・データの利用方法]

●対象となる方々

2015年4月以降、QST病院で前立腺がん又はすい臓がんのため放射線治療を受けた40歳以上の患者様のうち、メディカルデータバンクの同意をいただいている方

●利用する試料・情報及び利用方法

本研究ではメディカルデータバンクに同意した方から既にいただいている血液試料や診療情報をこの研究の解析に利用させていただき、その結果を個人が特定できないようなデータとして学会や論文で研究結果を発表します。そのため、この研究目的で新たな採血や診療は行いません。

[個人情報の取り扱い]

この研究では、患者様の個人情報（氏名、住所など）は使用しません。また、患者様個人が特定されるような研究結果の公表は致しません。（国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構個人情報保護規程に従い、資料の保管管理及び利用等に関する措置を行います。）

この研究にご自分のデータを使ってほしくない方（又は代理人の方）は、2024年3月31日までに下記窓口にお申し出くださるようお願い致します（この期間を過ぎると個人識別できない試料や情報は取り除けなくなることがあります。）。ご自分のデータの使用をお断りになっても、不利益を受けることはありません。

[問い合わせ先：窓口]

千葉県千葉市稲毛区穴川4-9-1

国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構

QST病院メディカルデータバンク同意・相談窓口電話：043-206-3306（平日9：00～17：00）

